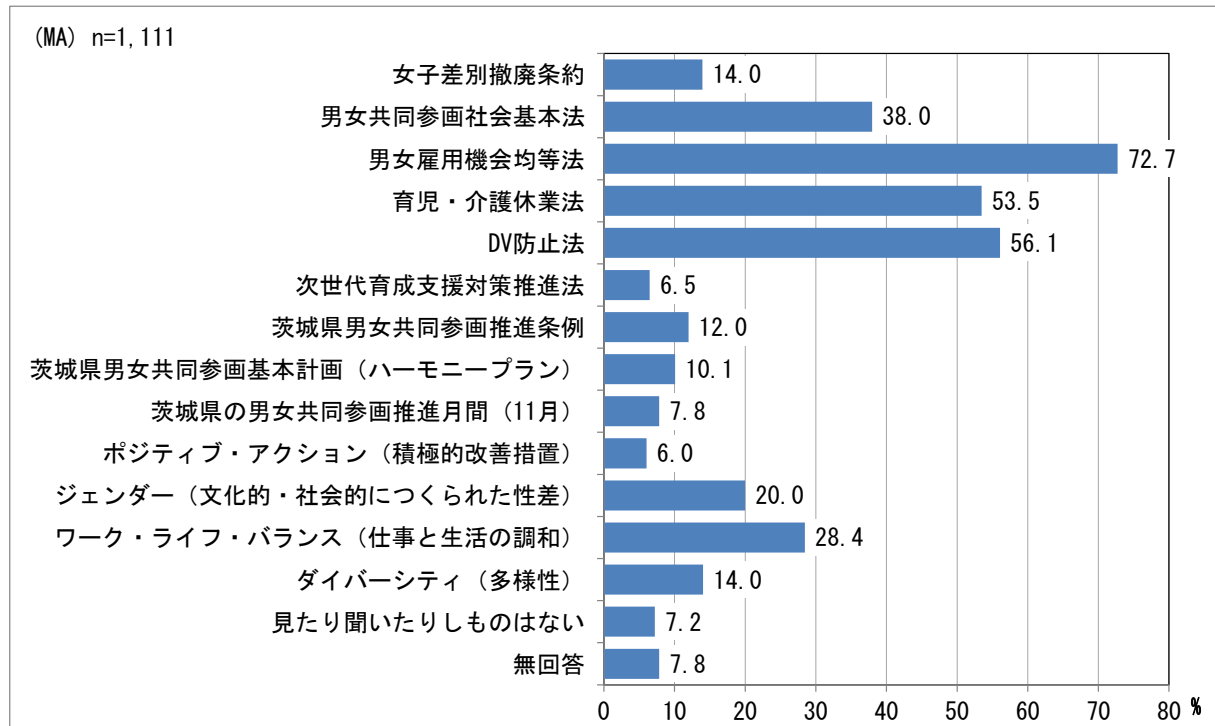


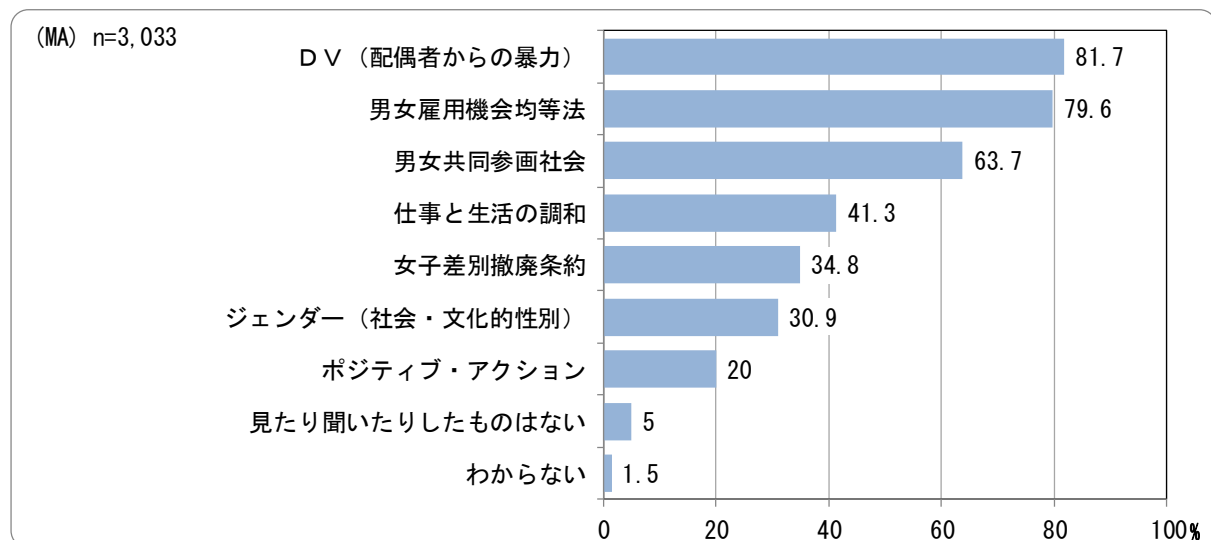
## 8 男女共同参画社会

### (1) 男女共同参画に関する用語等の周知度

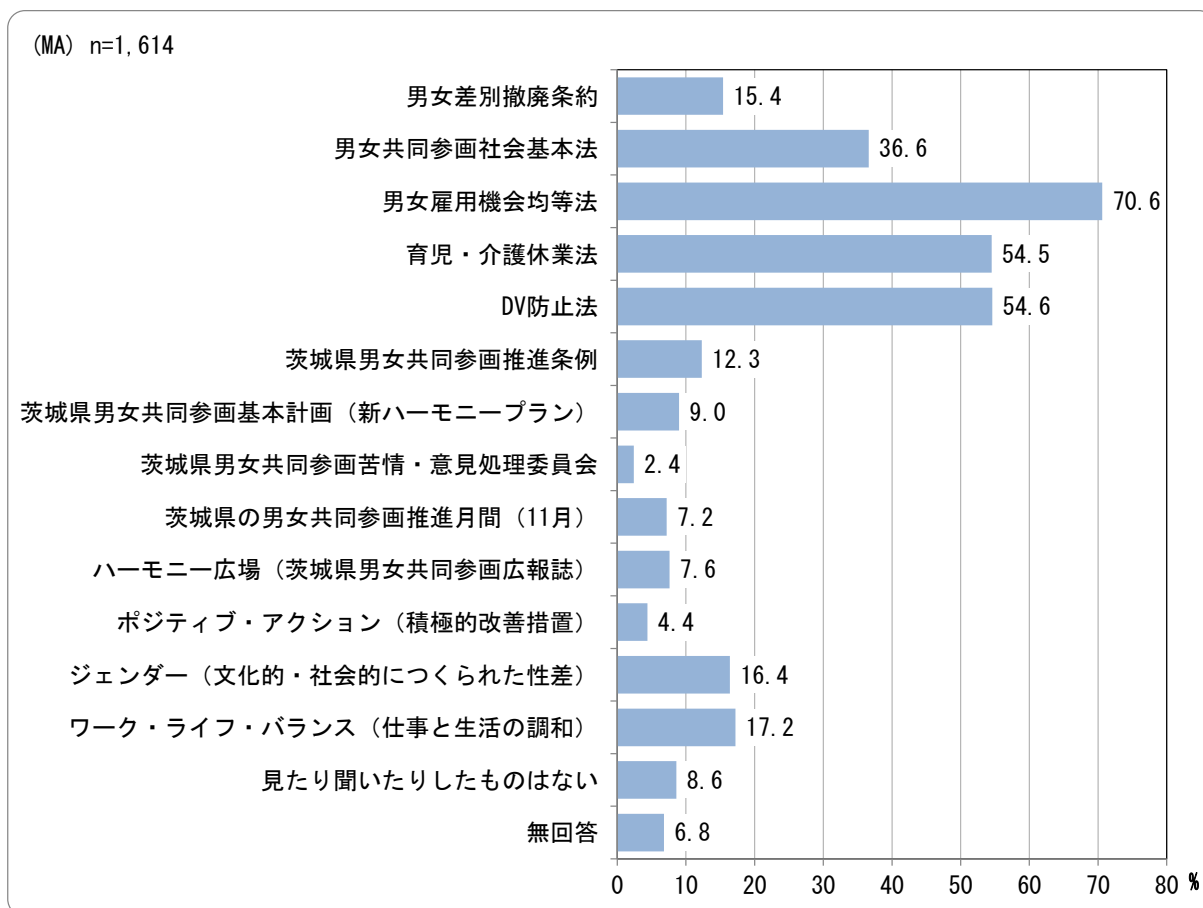
問19 次にあげる言葉や施策等の中で、あなたが見たり聞いたりしたことがありますか。(〇はいくつでも)



#### ■平成24年全国



■平成 22 年茨城県



■回答者の7割が「男女雇用機会均等法」を知っていると回答しているが、「県条例」や「県計画」などは低い状況となっている

男女共同参画に関する用語等で周知度が高いものについては、「男女雇用機会均等法」が72.7%と最も高く、次いで「DV防止法」が56.1%、「育児・介護休業法」が53.5%、「男女共同参画社会基本法」が38.0%となっている。

年齢別にみると、「ジェンダー」や「ワーク・ライフ・バランス」については、若い年齢層の周知度が高くなっている。

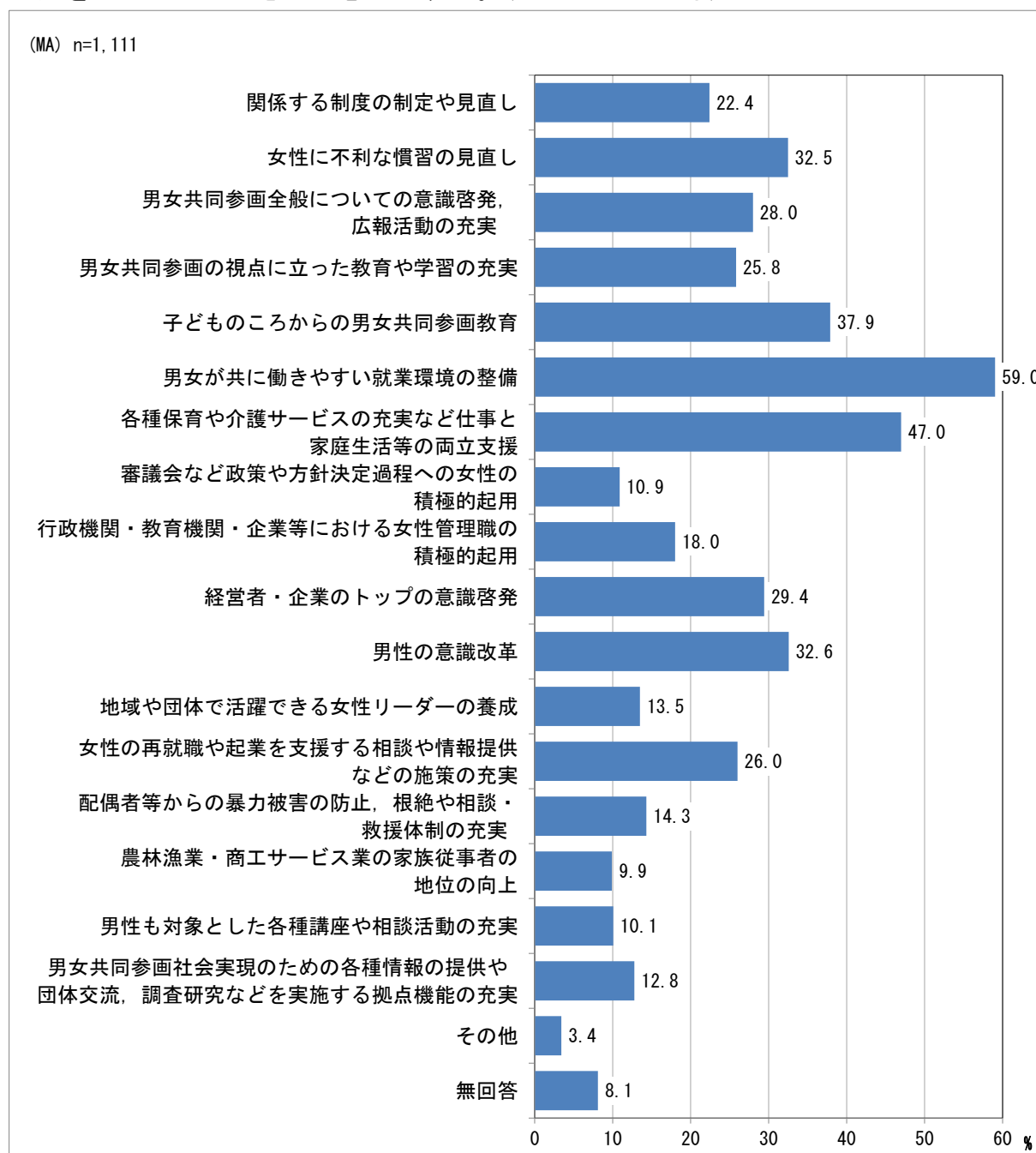
■男女共同参画に関する用語等の周知度（各属性別）

		る態子女子 条の対差 約の別 撤の 廃の に 関 す 形	法男女 共同 参画 社会 基本	男女 雇用 機会 均等 法	育 児 ・ 介 護 休 業 法	律 害 者 の 保 護 に 関 す る 法	ら の 暴 力 の 防 止 及 び 被 害 者 か	D V 防 止 法 （ 配 偶 者 か	進 法 次 世 代 育 成 支 援 対 策 推	進 茨 城 県 男 女 共 同 参 画 推	ラ 本 計 画 （ ハ ー モ ニ ー プ ）	茨 城 県 男 女 共 同 参 画 基
単位：%												
性別	男性 (n=501)	17.0	40.3	79.0	54.1	59.1	7.0	13.2	10.4			
	女性 (n=581)	10.7	36.3	68.0	53.4	54.2	5.5	10.7	9.8			
年齢別	20歳代 (n=71)	23.9	69.0	81.7	53.5	45.1	5.6	5.6	1.4			
	30歳代 (n=130)	17.7	29.2	78.5	53.8	50.0	9.2	5.4	9.2			
	40歳代 (n=178)	10.7	32.0	80.9	56.7	64.0	7.3	11.2	12.4			
	50歳代 (n=200)	10.5	34.5	79.5	58.5	64.0	6.0	10.0	11.0			
	60歳代 (n=272)	13.2	41.9	72.8	59.2	64.0	5.5	14.0	9.9			
	70歳以上 (n=241)	14.1	37.3	56.8	41.5	42.3	5.4	16.6	10.8			
	不詳 (n=19)	26.3	26.3	52.6	36.8	42.1	15.8	21.1	10.5			
職業別	農林漁業 (自営業主) (n=24)	4.2	37.5	62.5	37.5	62.5	12.5	16.7	8.3			
	農林漁業 (家族従業者) (n=10)		20.0	20.0	30.0	30.0			10.0			
	商工・サービス業 (自営業主) (n=42)	11.9	35.7	71.4	52.4	59.5	7.1	16.7	9.5			
	商工・サービス業 (家族従業者) (n=25)	12.0	28.0	72.0	72.0	52.0	4.0	8.0	8.0			
	自由業 (自営業主) (n=35)	17.1	37.1	68.6	42.9	51.4	11.4	11.4	17.1			
	自由業 (家族従業者) (n=14)	14.3	28.6	78.6	35.7	28.6	7.1					
	被雇用者 (専門・技術職) (n=203)	12.8	44.3	84.7	59.6	68.0	6.4	12.3	15.3			
	被雇用者(事務職) (n=150)	10.7	46.0	84.0	64.7	59.3	5.3	13.3	13.3			
	被雇用者(労務職) (n=119)	16.8	27.7	73.1	51.3	59.7	9.2	3.4	3.4			
	専業主婦・主夫 (n=199)	13.6	37.2	72.4	57.8	58.3	5.5	12.1	9.5			
	学生 (n=12)	33.3	91.7	83.3	50.0	50.0	8.3	8.3				
	無職 (n=246)	15.0	35.4	61.8	44.3	44.3	4.5	15.0	7.7			
不詳 (n=32)	25.0	25.0	53.1	40.6	50.0	15.6	15.6	12.5				
地域別	県北地域 (n=230)	12.2	34.8	80.0	56.1	53.9	10.4	12.2	11.3			
	県央地域 (n=203)	14.8	44.3	70.9	53.7	59.6	7.9	15.8	12.8			
	鹿行地域 (n=86)	8.1	27.9	57.0	55.8	55.8	3.5	12.8	12.8			
	県南地域 (n=362)	17.1	40.3	74.9	54.1	57.5	4.4	10.2	6.9			
	県西地域 (n=211)	10.9	36.5	71.1	49.8	54.0	4.7	10.0	10.4			

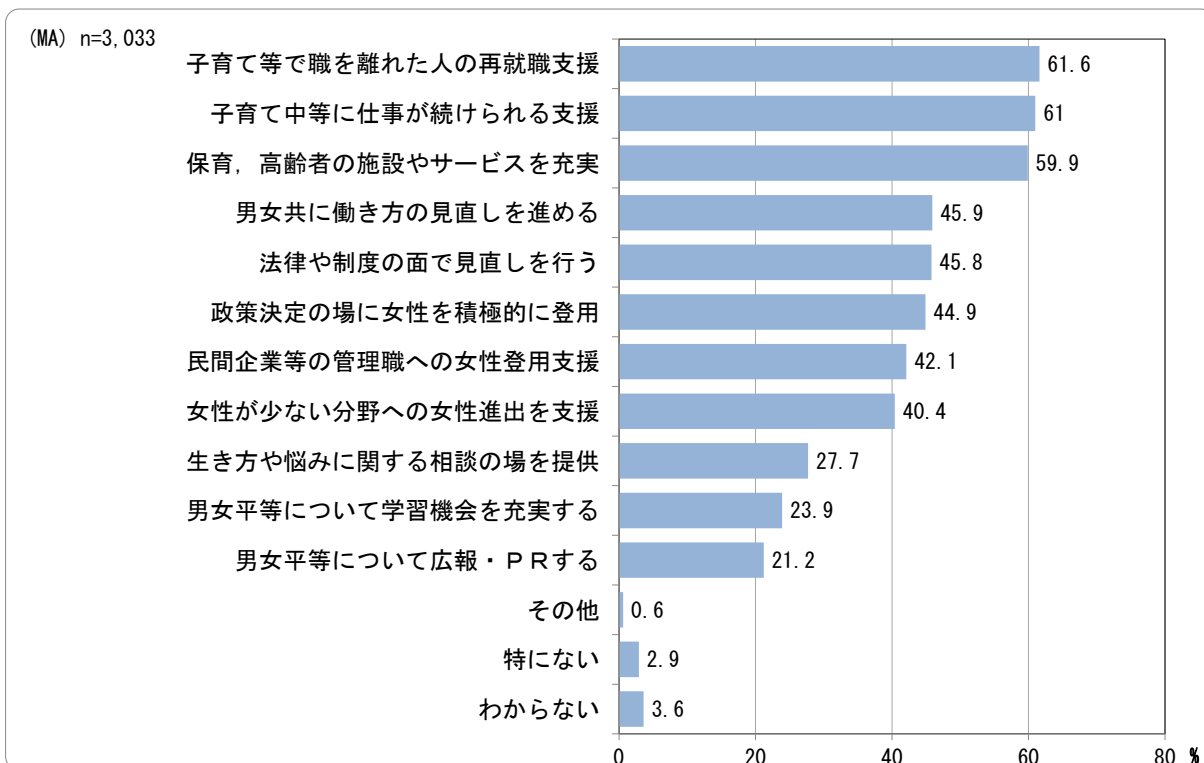
		茨城県の男女共同参画推進月間（11月）	ポジティブ・アクション（積極的改善措置）	ジェンダー（文化的・社会的につくられた性差）	ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）	ダイバーシティ（多様な性）	見たり聞いたりしたものはない	無回答
単位：%								
性別	男性 (n=501)	6.6	5.8	20.6	34.1	16.2	7.8	5.2
	女性 (n=581)	8.8	6.2	20.1	24.1	12.4	6.7	9.5
年齢別	20歳代 (n=71)	4.2	2.8	40.8	42.3	22.5	5.6	1.4
	30歳代 (n=130)	4.6	10.0	32.3	41.5	26.9	8.5	1.5
	40歳代 (n=178)	10.7	6.7	27.5	39.3	18.0	7.3	1.7
	50歳代 (n=200)	7.5	6.0	22.5	28.0	20.0	6.0	3.0
	60歳代 (n=272)	7.4	5.1	14.3	25.0	8.8	4.4	8.8
	70歳以上 (n=241)	9.1	5.4	7.1	14.9	3.3	11.6	18.7
	不詳 (n=19)	10.5	5.3	5.3	10.5	5.3		31.6
職業別	農林漁業 (自営業主) (n=24)	8.3	4.2	8.3	20.8			25.0
	農林漁業 (家族従業者) (n=10)						10.0	40.0
	商工・サービス業 (自営業主) (n=42)	7.1	4.8	2.4	19.0	11.9	4.8	7.1
	商工・サービス業 (家族従業者) (n=25)	4.0	4.0	4.0	12.0	12.0	8.0	
	自由業 (自営業主) (n=35)	8.6	14.3	17.1	22.9	11.4	5.7	14.3
	自由業 (家族従業者) (n=14)			14.3	14.3	7.1	7.1	
	被雇用者 (専門・技術職) (n=203)	6.9	7.9	35.0	44.3	25.6	2.5	2.0
	被雇用者（事務職） (n=150)	11.3	4.0	28.0	48.7	24.7	6.7	1.3
	被雇用者（労務職） (n=119)	5.9	5.9	18.5	23.5	11.8	10.1	2.5
	専業主婦・主夫 (n=199)	10.6	6.0	19.6	21.6	9.0	4.5	9.0
	学生 (n=12)		16.7	83.3	75.0	58.3	8.3	
	無職 (n=246)	6.9	4.9	9.3	15.9	4.5	14.2	14.2
	不詳 (n=32)	6.3	9.4	9.4	25.0	12.5		21.9
地域別	県北地域 (n=230)	7.8	8.3	17.8	30.9	16.5	5.2	7.8
	県央地域 (n=203)	10.8	5.9	17.7	27.6	11.8	9.4	5.9
	鹿行地域 (n=86)	8.1	2.3	10.5	23.3	5.8	8.1	11.6
	県南地域 (n=362)	6.9	6.4	28.2	32.6	19.1	6.9	6.1
	県西地域 (n=211)	6.2	4.7	15.6	23.2	9.0	8.1	9.0

## (2) 男女共同参画社会の実現に当たって行政に要望すること

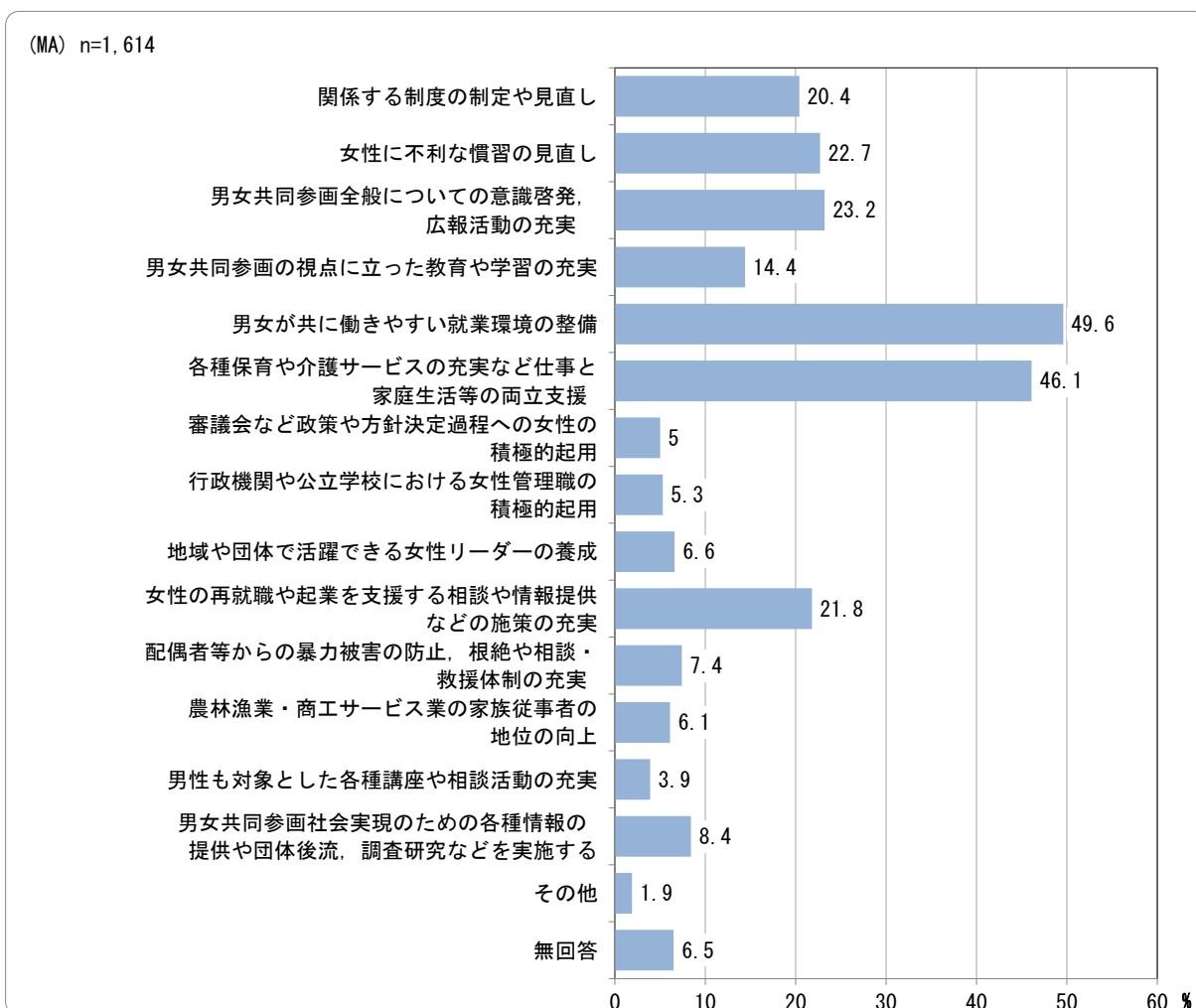
問20 男女共同参画社会を実現するためには、県や市町村は今後どのようなことに力をいれていくべきだと思いますか。(〇はいくつでも)



■平成 24 年全国



■平成 22 年茨城県



■男女共同参画社会の実現に当たって行政に要望することは、「男女が共に働きやすい就業環境の整備」が約6割で、最多

男女共同参画社会の実現に当たって行政に要望することは、「男女が共に働きやすい就業環境の整備」が59.0%と最も高く、次いで「各種保育や介護サービスの充実など仕事と家庭生活等の両立支援」が47.0%、「子どものころからの男女共同参画教育」が37.9%となっている。

全国と比較すると、施策の違い等によって項目が異なるものの、「保育・介護サービスの充実」、「就労支援・再就職支援」、「仕事と生活等の両立支援」等が上位項目となっており、ほぼ同様の傾向であると言える。

前回調査と比較しても、同様の結果となっている。

■男女共同参画社会の実現に当たって行政に要望すること（その他回答）

内容	性別	年齢
無資格でも働ける専門職とか企業を増やしてほしい	男性	20歳代
男性、女性両方にとってすべての法律、規定が平等であるよう見直が必要だと思う	男性	30歳代
男女どちらかを優遇するのではなく、どちらも不利にならないような評価制度や慣習を見直すこと	男性	30歳代
婚活の支援	男性	30歳代
社会には女性優遇サービスがあふれているように思える	男性	30歳代
地域やPTAの長を男性に限るような慣習を強制的に改めさせる	男性	30歳代
中高老年世代への男女共同参画教育	男性	40歳代
育児休業等取得しやすくする環境づくり	男性	40歳代
わからない	男性	40歳代ほか
障害者、老人対策	男性	40歳代
できるだけ多くの“生の声”を集めてから、対応を検討する	男性	50歳代
女性の意識改革、技術のレベルアップ仕事に対する責任感	男性	60歳代
制度化された法の確実な実行	男性	60歳代
社会に出て役に立つ知識を子供のうちから学ぶこと	男性	60歳代
家庭内で男女の役割を明確にさせるためのセミナーやしくみの構築と実践	男性	60歳代
県や市町村の行政から率先して実施し、見本を見せること	男性	60歳代
正規、非正規の賃金格差の是正	男性	70歳以上
人口減を止め、社会全体を豊かにすること	男性	70歳以上
女性自身の意識改革が必要である	男性	70歳以上
女性ばかりに片寄らず、男性にも出来る事を協力してもらおう	女性	20歳代
子育てしやすく、働きやすい職場づくりと保育園のバランス	女性	30歳代
男性の労働時間過多の見直し	女性	40歳代

内容	性別	年齢
企業への訪問などで状況を知る	女性	50 歳代
シルバー世代のコミュニティーの内容の充実	女性	50 歳代
夫の両親の無理解をなくす	女性	70 歳以上



■男女共同参画社会を実現するにあたって行政に対する要望（各属性別）

		関係する制度の制定や見直し	女性に不利な慣習の見直し	男女共同参画全般についての意識啓発、広報活動の充実	男女共同参画の視点に立った教育や学習の充実	子どものころからの男女共同参画教育	男女が共に働きやすい就業環境の整備	各種保育や介護サービスの充実など仕事と家庭生活等の両立支援	審議会など政策や方針決定過程への女性の積極的起用
単位：%									
性別	男性 (n=501)	29.1	32.9	33.1	28.3	37.3	55.9	40.3	11.6
	女性 (n=581)	16.9	31.7	23.1	24.3	38.4	62.5	53.4	9.5
年齢別	20歳代 (n=71)	31.0	29.6	15.5	14.1	33.8	69.0	50.7	7.0
	30歳代 (n=130)	24.6	36.9	10.0	16.2	37.7	62.3	49.2	7.7
	40歳代 (n=178)	17.4	31.5	17.4	21.3	40.4	64.6	56.2	5.6
	50歳代 (n=200)	22.0	37.5	32.0	30.0	40.0	61.5	48.5	9.0
	60歳代 (n=272)	23.9	30.9	34.6	30.9	40.4	58.8	50.4	11.8
	70歳以上 (n=241)	21.2	28.2	37.8	29.5	33.6	49.8	34.0	16.6
	不詳 (n=19)	21.1	47.4	36.8	15.8	26.3	42.1	31.6	31.6
職業別	農林漁業 (自営業主) (n=24)	12.5	25.0	45.8	41.7	37.5	58.3	29.2	12.5
	農林漁業 (家族従業者) (n=10)		20.0	50.0	20.0	10.0	50.0	40.0	10.0
	商工・サービス業 (自営業主) (n=42)	19.0	40.5	28.6	19.0	26.2	61.9	42.9	19.0
	商工・サービス業 (家族従業者) (n=25)	24.0	36.0	20.0	20.0	36.0	48.0	52.0	
	自由業 (自営業主) (n=35)	22.9	31.4	14.3	17.1	14.3	45.7	48.6	8.6
	自由業 (家族従業者) (n=14)	14.3	14.3	14.3	7.1	21.4	57.1	42.9	7.1
	被雇用者 (専門・技術職) (n=203)	23.6	31.5	21.7	30.0	42.9	62.6	52.2	6.9
	被雇用者(事務職) (n=150)	24.7	35.3	26.7	26.7	47.3	66.7	53.3	9.3
	被雇用者(労務職) (n=119)	26.1	27.7	25.2	21.8	30.3	60.5	47.1	8.4
	専業主婦・主夫 (n=199)	19.1	38.2	27.1	28.1	43.7	64.8	55.3	12.6
	学生 (n=12)	41.7	25.0	8.3	8.3	25.0	58.3	58.3	16.7
	無職 (n=246)	23.2	30.1	37.8	26.4	36.6	50.4	35.4	13.8
地域別	県北地域 (n=230)	22.2	28.7	28.7	23.9	39.6	59.1	45.2	10.0
	県央地域 (n=203)	23.6	31.5	28.1	29.1	38.4	59.1	44.8	12.8
	鹿行地域 (n=86)	22.1	30.2	22.1	25.6	45.3	59.3	48.8	11.6
	県南地域 (n=362)	20.7	33.4	27.6	26.2	38.1	57.7	51.1	11.9
	県西地域 (n=211)	24.6	35.5	29.4	25.1	33.2	62.6	44.5	6.2

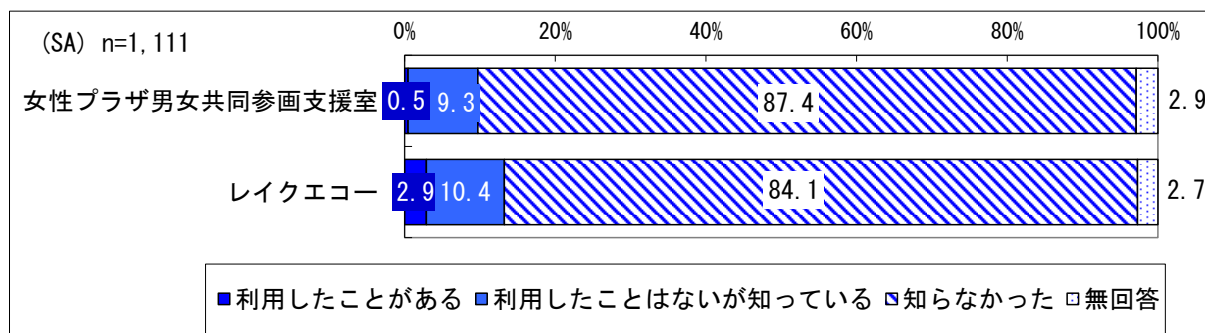
		女性管理職の積極的起用	経営者・企業のトップの意識啓発	男性の意識改革	地域や団体で活躍できる女性リーダーの養成	女性の再就職や起業を支援する相談や情報提供などの施策の充実	配偶者等からの暴力被害の防止、根絶や相談・救済体制の充実	農林漁業・商工サービス業の家族従事者の地位の向上
単位：%								
性別	男性 (n=501)	18.6	31.5	33.7	13.6	20.6	13.6	9.6
	女性 (n=581)	17.2	27.4	31.0	13.4	30.8	14.8	10.2
年齢別	20歳代 (n=71)	12.7	23.9	22.5	8.5	35.2	18.3	5.6
	30歳代 (n=130)	16.9	34.6	31.5	6.9	33.8	16.9	9.2
	40歳代 (n=178)	15.2	34.3	41.0	10.7	31.5	16.3	6.7
	50歳代 (n=200)	17.5	29.0	37.5	11.0	27.0	14.0	9.0
	60歳代 (n=272)	16.9	31.3	28.3	15.8	23.2	11.0	11.0
	70歳以上 (n=241)	23.2	22.4	30.3	19.9	17.4	14.5	13.3
	不詳 (n=19)	26.3	36.8	36.8	15.8	26.3	10.5	10.5
職業別	農林漁業 (自営業主) (n=24)	20.8	25.0	20.8	20.8	12.5	8.3	25.0
	農林漁業 (家族従業者) (n=10)	10.0	10.0	20.0	20.0	20.0		30.0
	商工・サービス業 (自営業主) (n=42)	14.3	35.7	38.1	11.9	23.8	14.3	14.3
	商工・サービス業 (家族従業者) (n=25)	16.0	28.0	32.0	8.0	20.0		12.0
	自由業 (自営業主) (n=35)	8.6	28.6	25.7	20.0	22.9	11.4	11.4
	自由業 (家族従業者) (n=14)	7.1	14.3	14.3		21.4	7.1	35.7
	被雇用者 (専門・技術職) (n=203)	15.8	32.5	41.4	11.8	28.1	17.7	6.9
	被雇用者(事務職) (n=150)	18.0	36.0	34.7	14.0	30.7	19.3	11.3
	被雇用者(労務職) (n=119)	14.3	31.1	28.6	8.4	28.6	15.1	3.4
	専業主婦・主夫 (n=199)	21.1	26.6	34.7	13.1	30.2	14.1	9.5
	学生 (n=12)	33.3	50.0	33.3	8.3	33.3	8.3	16.7
	無職 (n=246)	21.1	24.4	28.0	17.9	19.5	13.0	9.8
地域別	県北地域 (n=230)	16.5	27.8	33.9	12.6	24.8	11.7	8.7
	県央地域 (n=203)	21.7	34.5	34.0	13.3	25.1	16.3	12.3
	鹿行地域 (n=86)	16.3	24.4	30.2	10.5	17.4	17.4	8.1
	県南地域 (n=362)	18.8	30.1	32.3	15.2	29.6	14.9	9.7
	県西地域 (n=211)	14.7	26.5	30.8	12.8	25.6	13.3	10.0

		男性も対象とした各種講座や相談活動の充実	男女共同参画社会実現のための各種情報提供や団体交流、調査研究などを実施する拠点機能の充実	その他	無回答
単位：%					
性別	男性 (n=501)	12.6	15.6	5.4	7.8
	女性 (n=581)	7.9	9.8	1.9	7.9
年齢別	20歳代 (n=71)	16.9	9.9	7.0	2.8
	30歳代 (n=130)	9.2	4.6	6.2	2.3
	40歳代 (n=178)	12.4	5.1	3.4	3.4
	50歳代 (n=200)	8.5	9.5	3.5	4.5
	60歳代 (n=272)	8.8	15.1	2.6	8.5
	70歳以上 (n=241)	10.0	23.2	2.1	17.0
	不詳 (n=19)	5.3	21.1		31.6
職業別	農林漁業 (自営業主) (n=24)	12.5	16.7	4.2	25.0
	農林漁業 (家族従業者) (n=10)	10.0	20.0		20.0
	商工・サービス業 (自営業主) (n=42)	11.9	14.3	2.4	4.8
	商工・サービス業 (家族従業者) (n=25)		4.0	4.0	4.0
	自由業 (自営業主) (n=35)	11.4	5.7	5.7	14.3
	自由業 (家族従業者) (n=14)	7.1			7.1
	被雇用者 (専門・技術職) (n=203)	13.3	7.9	4.9	3.0
	被雇用者(事務職) (n=150)	8.0	8.7	4.7	2.7
	被雇用者(労務職) (n=119)	9.2	15.1	6.7	4.2
	専業主婦・主夫 (n=199)	7.5	10.1	2.0	7.0
	学生 (n=12)	41.7	8.3		
	無職 (n=246)	10.6	22.0	1.2	15.0
地域別	県北地域 (n=230)	8.7	12.2	3.9	7.4
	県央地域 (n=203)	10.3	10.3	5.4	7.9
	鹿行地域 (n=86)	7.0	11.6	5.8	4.7
	県南地域 (n=362)	12.7	13.8	2.5	8.3
	県西地域 (n=211)	8.5	13.7	1.9	8.1

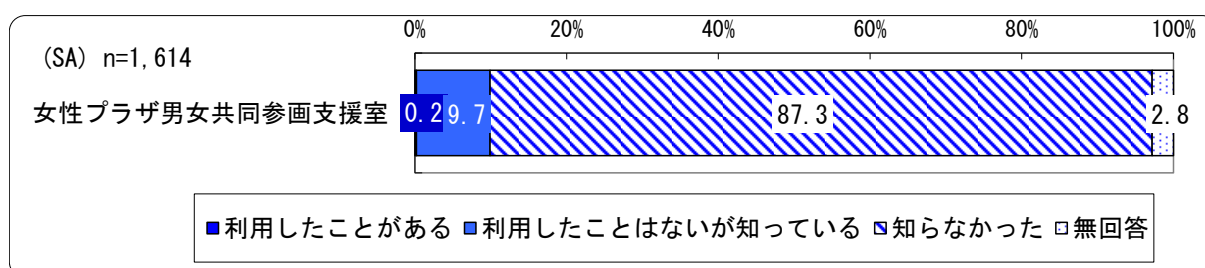
### (3) 男女共同参画拠点施設

問21-1 県の男女共同参画を推進する施設「女性プラザ男女共同参画支援室」をご存知ですか。(〇は1つ)

問21-2 県の鹿行生涯学習センター・女性プラザである「レイクエコー」をご存知ですか。(〇は1つ)



#### ■平成22年茨城県



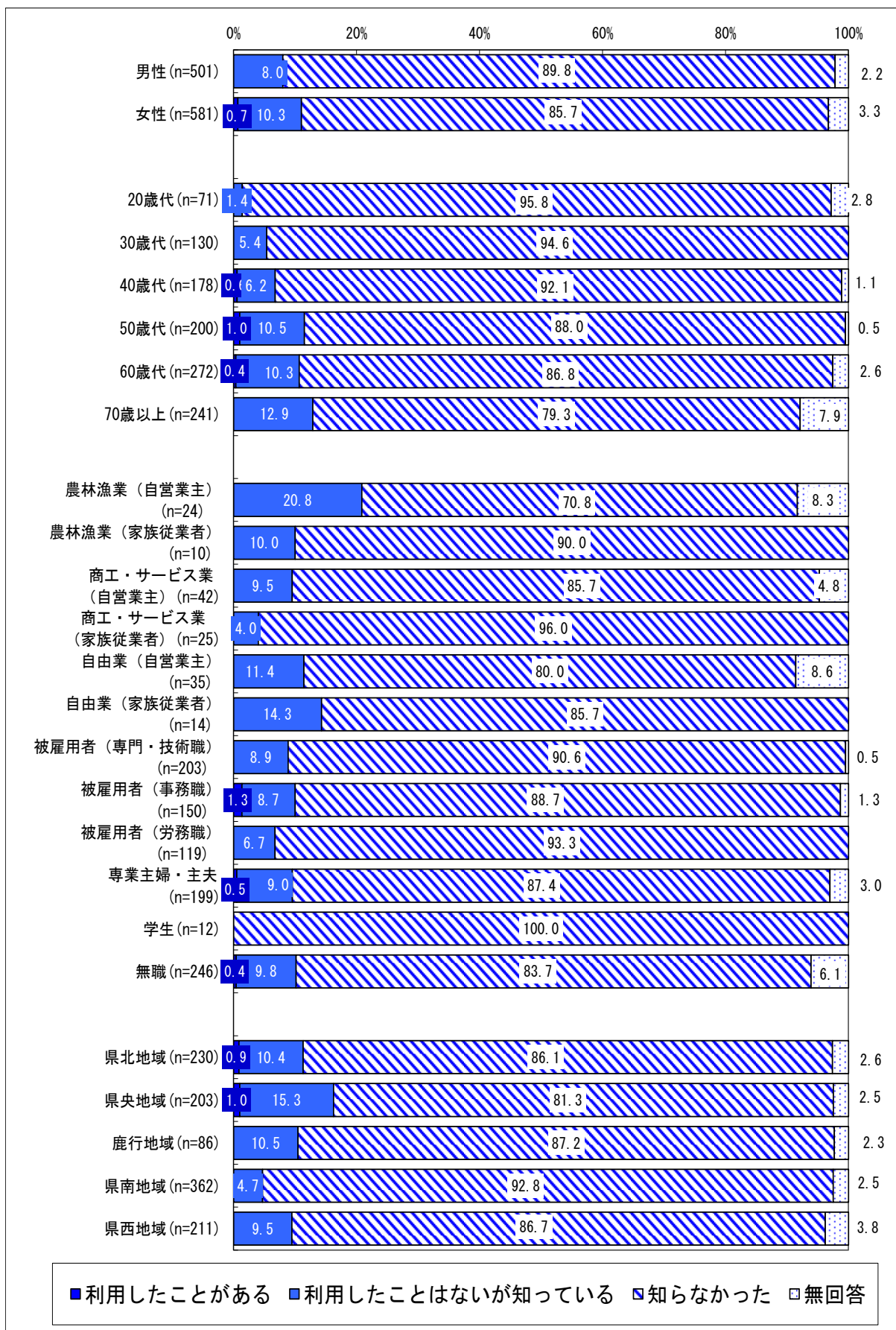
#### ■回答者の8割以上が、県の男女共同参画拠点施設を「知らなかった」

県の男女共同参画拠点については8割以上が「知らなかった」(女性プラザ男女共同参画支援室：87.4%、レイクエコー：84.1%)と回答している。

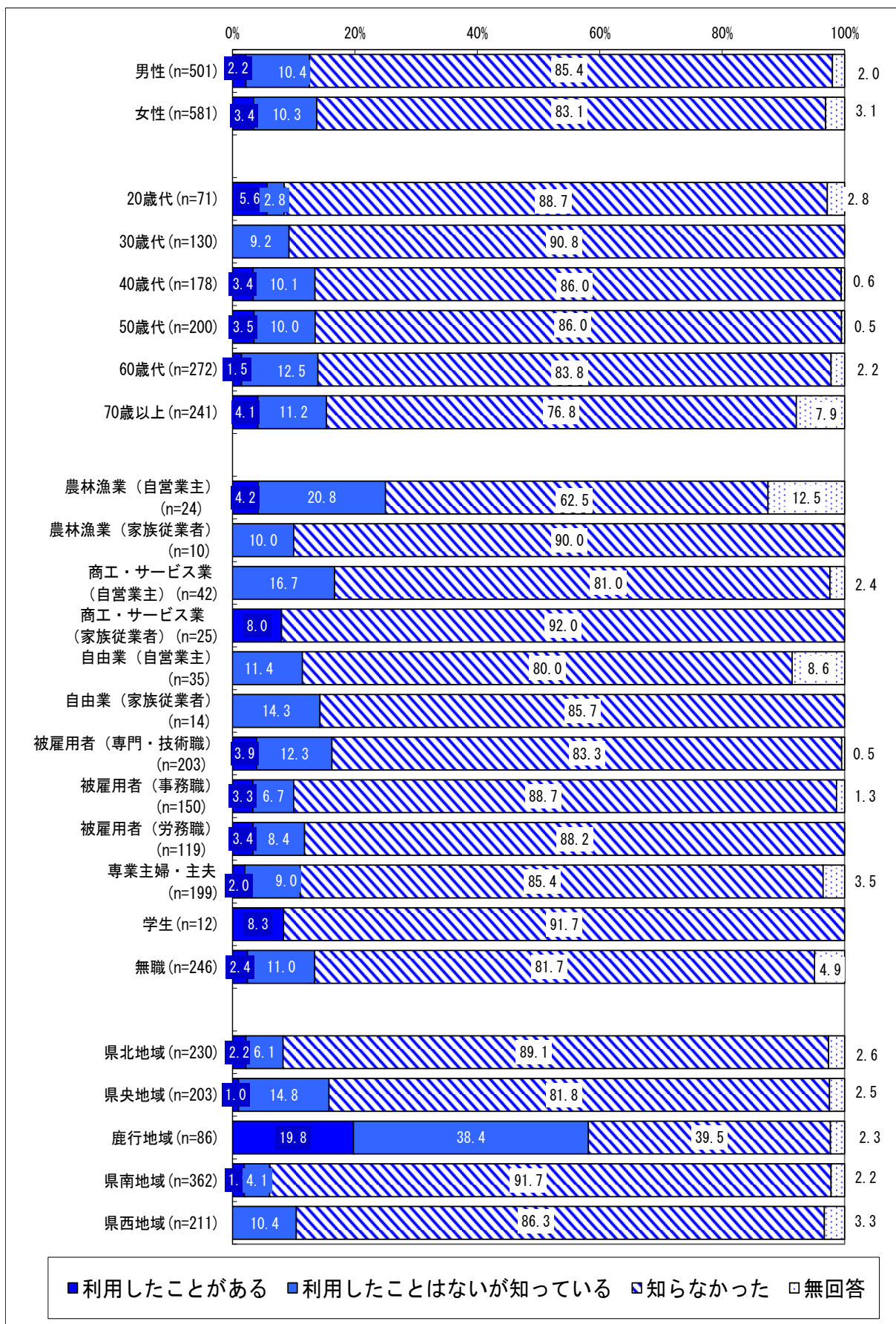
性別にみると、女性の周知がやや高くなっているが、8割以上(女性プラザ男女共同参画支援室：85.7%、レイクエコー：83.1%)が「知らなかった」と回答している。

年齢別にみると、女性プラザ男女共同参画支援室は50歳代以上で知っている割合が1割(50歳代：10.5%、60歳代：10.3%、70歳代：12.9%)を超え、レイクエコーは40歳代以上で知っている割合が1割(40歳代：10.1%、50歳代：10.0%、60歳代：12.5%、70歳代：11.2%)を超え他の年齢層と比べて高くなっている。

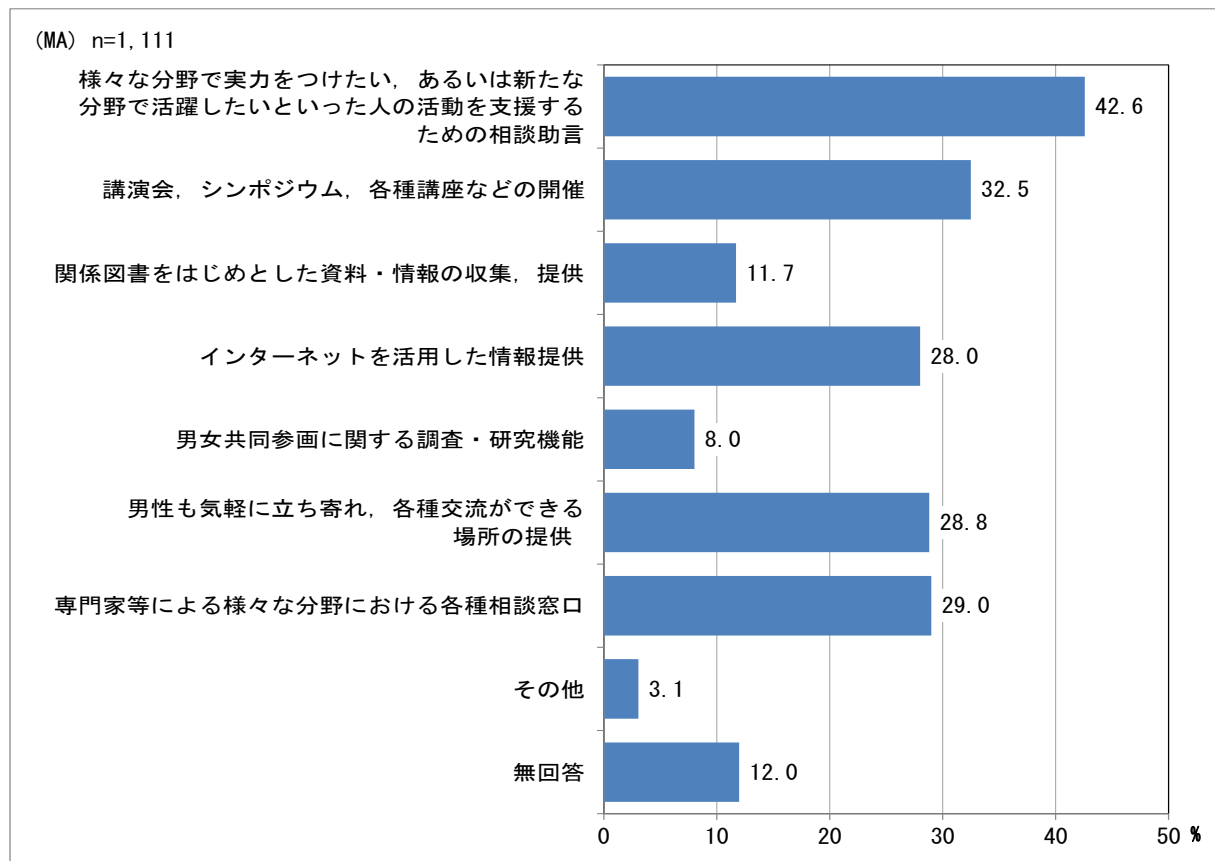
■女性プラザ男女共同参画支援室の周知度（各属性別）



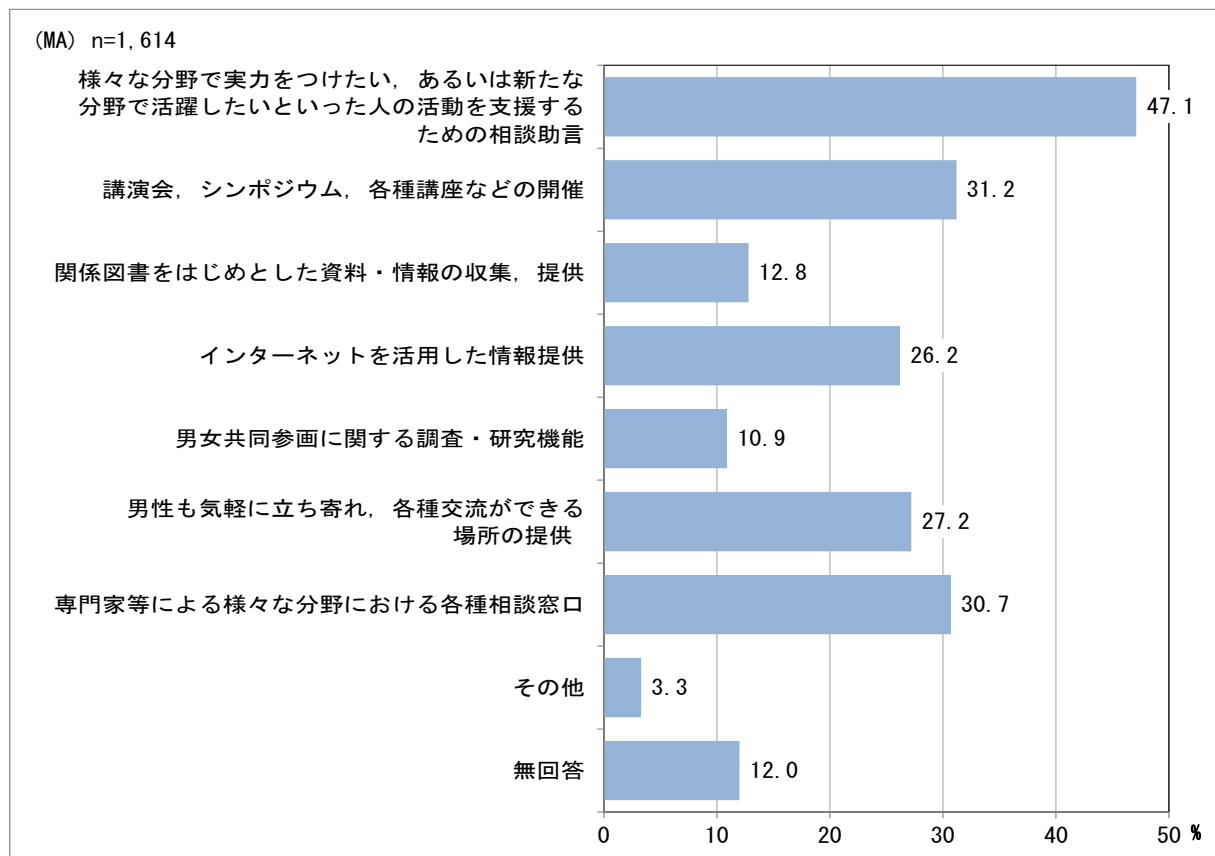
■ レイクエコーの周知度（各属性別）



問 2 1 - 3 あなたは、男女共同参画を推進するための拠点施設に対して、どのような役割を期待していますか。(〇は3つまで)



■平成 22 年茨城県



■男女共同参画拠点施設の役割として期待することは、「様々な分野で実力を付けたい、あるいは新たな分野で活躍したいといった人の活動を支援するための相談助言」が4割を超え、最多

男女共同参画拠点施設の役割として期待することについては、「様々な分野で実力を付けたい、あるいは新たな分野で活躍したいといった人の活動を支援するための相談助言」が42.6%と最も高く、次いで「講演会、シンポジウム、各種講座などの開催」が32.5%、「専門家等による様々な分野における各種相談窓口」が29.0%となっている。

性別にみると、「男性も気軽に立ち寄れ、各種交流ができる場所の提供」で男性（32.9%）が女性（25.0%）を7.9ポイント上回っている。また、「専門家等による様々な分野における各種相談窓口」で女性（34.3%）が男性（23.0%）を11.3ポイント上回っている。

■男女共同参画拠点施設の役割として期待すること（その他回答）

内容	性別	年齢
女性の権利拡大を目的とした男性差別にならない役割	男性	30歳代
行政が率先垂範しつつ、強制力を持って地域や事業所に働きかける	男性	30歳代
仕事の斡旋等、新しいかたちの会社を作ってほしい	男性	30歳代
会社の指導、会社での講演	男性	40歳代
一つでも先ず実行すること	男性	60歳代
拠点または窓口の増加	男性	60歳代ほか
めりはりをつけ重点を決める	男性	70歳以上
拠点から遠い地域の人への細かな配慮	男性	70歳以上ほか
行政と一体感のあるもの	女性	40歳代
子育てを援助するシステム	女性	40歳代
小規模（市町村）単位での活動	女性	50歳代
ワークライフバランスの勉強会を開くこと	女性	60歳代



■男女共同参画拠点施設の役割として期待すること（各属性別）

		の活動は様々な分野で活躍するための相談と言	の講演会、シンポジウム、各種講座など	関係図書をはじめとした資料・情報の提供	インターネットを活用した情報提供	男女共同参画に関する調査・研究機能	男性も気軽に立ち寄り、各種交流ができる場所の提供	専門家等による様々な分野における各種相談窓口	その他	無回答
単位：%										
性別	男性 (n=501)	38.7	31.3	12.6	30.3	9.6	32.9	23.0	3.6	11.6
	女性 (n=581)	46.1	33.2	11.0	26.3	6.4	25.0	34.3	2.8	11.9
年齢別	20歳代 (n=71)	45.1	11.3	14.1	38.0	9.9	36.6	25.4	4.2	9.9
	30歳代 (n=130)	50.0	27.7	9.2	34.6	5.4	30.8	29.2	4.6	3.8
	40歳代 (n=178)	43.8	28.1	7.9	31.5	9.0	23.6	38.8	3.9	9.6
	50歳代 (n=200)	44.0	27.5	13.0	37.5	9.5	27.5	32.5	4.0	7.0
	60歳代 (n=272)	39.3	42.6	16.2	24.3	7.4	28.3	26.8	1.8	10.7
	70歳以上 (n=241)	39.0	37.3	9.1	15.4	7.1	30.7	22.8	2.1	23.7
職業別	農林漁業 (自営業主) (n=24)	25.0	50.0	16.7	16.7	4.2	33.3	12.5		25.0
	農林漁業 (家族従業者) (n=10)	50.0	50.0			10.0	20.0	20.0		10.0
	商工・サービス業 (自営業主) (n=42)	38.1	31.0	11.9	42.9	9.5	31.0	26.2		11.9
	商工・サービス業 (家族従業者) (n=25)	52.0	28.0	16.0	40.0	4.0	16.0	28.0		4.0
	自由業 (自営業主) (n=35)	34.3	34.3	14.3	22.9	2.9	20.0	22.9	11.4	11.4
	自由業 (家族従業者) (n=14)	57.1	14.3	28.6	21.4		42.9			7.1
	被雇用者 (専門・技術職) (n=203)	42.4	31.5	8.4	35.5	8.9	30.5	33.5	5.4	5.4
	被雇用者(事務職) (n=150)	46.7	33.3	10.0	37.3	8.7	26.0	32.7	2.0	9.3
	被雇用者(労務職) (n=119)	37.8	25.2	11.8	31.9	9.2	31.1	27.7	5.9	5.9
	専業主婦・主夫 (n=199)	44.7	33.2	12.1	26.6	5.0	18.1	33.7	2.5	14.1
	学生 (n=12)	58.3	8.3	25.0	41.7		58.3	41.7		
	無職 (n=246)	41.9	36.2	13.0	14.2	10.6	33.7	25.6	1.6	20.3
地域別	県北地域 (n=230)	41.3	33.5	6.5	29.6	6.5	29.1	28.7	4.3	12.2
	県央地域 (n=203)	42.9	35.5	11.8	24.1	8.4	27.1	37.9	3.9	11.8
	鹿行地域 (n=86)	48.8	34.9	9.3	31.4	1.2	37.2	24.4		8.1
	県南地域 (n=362)	43.9	28.2	14.9	27.9	11.0	26.0	28.2	3.3	12.2
	県西地域 (n=211)	38.4	35.1	12.8	28.9	6.2	31.3	24.6	1.9	12.3